

I 事業期間 2011 年 6 月 1 日 ～ 2012 年 5 月 31 日

II 事業の成果

1. 街路樹剪定枝葉の有効利用の推進

公園の緑化樹や街路樹などの剪定枝葉は毎年大量に焼却処分されている未利用資源ですが、剪定枝葉を分別せずに資源化する従来の方法では用途が限られるために需要が伸びないという問題があります。剪定枝葉を枝と葉に分別すれば、枝はそのままマルチング材に利用できるほか、パルプや木炭などの原料、バイオマス発電のための燃料として利用できます。一方、葉（生葉）は土壌改良材だけでなく、植物栽培用の培地にも利用できます。



市民活動総合情報誌「ウォロ」
(2010年4月号)の記事

当法人は継続的な技術指導、研究機関との共同研究や主要技術の特許化を推進するとともに、国土交通省や自治体等への技術の普及を図る活動を行っています。前期において大阪府吹田市より「剪定枝葉の地産地消」事業化の内諾を得ていましたが、その後の政治的な変化により保留された状態が続いています。また、国道 43 号道路緑化樹の剪定枝葉を利用した「国道 43 号名刺」は当法人の事務局や会員のほか公益財団法人公害地域再生センター（あおぞら財団・大阪市西淀川区）などでも使われています。なお、当期末において特許出願中であった新技術「枝葉の資源化方法」は、その後の 2012 年 6 月に特許として認められました。

[参考] <http://matteru.com/>

2. 高等独文解釈のウェブサイト公開 <http://dgcbase.jp/deutsche/>

上級者向け独文読解のためのサイト「高等独文解釈」は大阪大学名誉教授（故人）が独文解釈用に収集した文章とその和訳の遺稿を試行的にウェブ公開するものです。この遺稿は当初は参考書として出版されるためにまとめられましたが、一般の学生にはやや難解であることから出版が見送られていました。それから約 20 年を経た現在では、本ではなくインターネットを利用して発信することができます。ドイツ文学の学生のみならず一般の愛好家の方々にも広く読まれることを期待して、ウェブサイトにて無料公開しています。2010 年 1 月に発行した 83 題に続いて、2012 年 1 月には新たに 41 題を追加しました。

3. 土壌由来温室効果ガス・土壌炭素調査事業

当事業は農林水産省の「生産環境総合対策事業」の一環として、我が国の農地・草地土壌による炭素貯留効果や温室効果ガス排出量の実態を把握しつつ、これらの機能を効果的に活用するために実施されています。当法人は東大阪市玉串地区のキク生産圃場における土壌炭素貯留に関する共同研究に参加するとともに、当事業の大阪窓口として会計や出納、報告書

類作成などの業務を担当しました。

[参考] <http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisan/120224.html>

4. 科学の普及啓発に資する図書の寄贈



松永和紀著「メディア・バイアス」

世間には科学的とは言い難い情報が氾濫しています。話題がセンセーショナルなものに偏っているだけでなく、その情報自体が間違っていることも多々あります。メディアの流す健康情報も例外ではなく、それらが一般消費者の行動に少なからず影響しています。

当法人の会員による著書「メディア・バイアス」は健康に関する科学情報の真贋の見極め方やリスク評価の視点を分かりやすく解説した良書です。当法人は、前期の豊中市に続いて、近隣自治体（池田・吹田・茨

木・摂津・大阪の5市）の公立図書館へもこの著書を寄贈しました。一人でも多くの方々に本書が読まれ、メディア情報に惑わされることのないよう期待しています。

[参考] <http://www.kobunsha.com/shelf/book/isbn/9784334033989>

5. 研究者集団につながる窓口の運営 <http://dgcbase.jp/>

事務局やウェブサイトでは、学際的な共同研究、社会学連携による研究開発やイベントの企画立案などについての問い合わせを随時受け付けています。研究者集団への相談窓口としての役割に留まらず、科学的で俯瞰的な現状認識に基づいたコンサルティングを行っています。

III 事業の実施状況

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 産官学民連携推進事業（一般会計）

【内 容】 産官学民連携事業の企画および支援

【実施場所】 京都府、大阪府、インターネット

【実施日時】 随時

【対 象 者】 参加希望者

【収 入】 4,500 円

【支 出】 133,287 円

(2) 産官学民連携推進事業（「土壌由来温室効果ガス・土壌炭素調査事業」特別会計）

【内 容】 平成 23 年度農林水産省「生産環境総合対策事業」に係る補助事業

【実施場所】 大阪市、東大阪市、インターネット

【実施期間】 2011 年 5 月～2012 年 3 月

【対 象 者】 玉串花き生産組合、JA グリーン大阪、東大阪市、大阪府農と緑の総合事務所、大阪府環境農林水産総合研究所

【収 入】 1,860,000 円

【支 出】 1,860,000 円

(3) 科学普及啓発事業（一般会計）

【内 容】 科学の普及啓発に資する図書の寄贈

【実施場所】 池田市、吹田市、茨木市、摂津市、大阪市

【実施日時】 2012年5月

【対 象 者】 上記自治体の公立図書館

【収 入】 0 円

【支 出】 1,650 円

IV 社員総会の開催状況

1. 定時総会

【開催日時】 2011年8月27日、16時30分～17時30分

【開催場所】 当法人事務局（大阪府豊中市曾根東町1-5-13）

【出席者数】 正会員15名（正会員総数30名）

【議 案】 第1号議案 2011年5月期事業報告及び収支決算の承認の件
第2号議案 次期役員選任の件

【審議結果】 第1号議案は、満場異議無く承認可決した。
第2号議案は、現役員全員の再任について満場一致をもって承認した。

V 理事会その他の役員会の開催状況

1. 理事会

【開催日時】 2011年6月18日～20日

【開催場所】 インターネット上（役員メーリングリスト上にて実施）

【出席者数】 理事4名（理事総数4名）、監事1名

【議 案】 収益事業廃止の件

【審議結果】 2011年5月31日付けの収益事業の廃止について、全員一致をもって承認した。

【開催日時】 2011年8月3日～5日

【開催場所】 インターネット上（役員メーリングリスト上にて実施）

【出席者数】 理事4名（理事総数4名）、監事1名

【議 案】 事業報告書案および収支決算報告書案の承認の件

【審議結果】 上記2案のいずれについても、全員一致をもって原案通り承認した。

以上